

# 楽踊楽座 全国行脚 記録

行脚 No.51

日時	2013年10月27日
行脚先	大日寺
住所	兵庫県加西市野上町（播磨国）
行事名	

## 特徴

蓮華座に立つ地蔵菩薩像は、背面に意匠として十字架状の浮き彫りを施した丸彫り立像です。背面に十字架状の文様を刻む石仏は、加西市域に特有のもので、地元産出の凝灰岩（通称・高室石）を用いています。

## 黒田官兵衛との関わり

昭和47年(1972年)、大日寺境内で背面に十字架が刻まれた地蔵菩薩が発見されました。これは加西市で初めて見つけられた十字架地蔵であり、それまで知られていなかった隠れキリシタンの存在が浮かび上がってきました。  
加西周辺には、16世紀後半の天正年間、山崎の黒田官兵衛(如水)をはじめとして、明石に高山右近、室津に小西行長らキリシタン大名が多くおりました。  
加西はいくつもの街道が交差する交通の要衝であり、宣教師も布教活動を行っているなど、もともと信仰の活発な地域でした。  
背面十字架地蔵は、そんなキリシタンらが禁教令により厳しくなった取締りに対抗し、隠れて信仰をするために作られたと考えられています。

## 記録

